

提案

日付：2024/3/4

件名：絵本の専門店を図書館の中に作るという企画を提案させていただきます。

1. 問題、課題

TSUTAYA の閉店によって、寒川町から本屋さんが消滅して、もうじき 7 年ぐらい経つと思います。

町内に本屋さんが全く無いというのは少し寂しさを感じます。

しかし、同じような一般向けの書店を町内にまた作っても利用者は見込めないと考えております。

2. 改善案

子供の本離れが徐々に進んでいた中で、日々の図書館や小学校での読み聞かせや、ブックスタートなどの活動によって、今、再び絵本が注目され始めています。

そこで、絵本に特化した絵本専門店を寒川町に新たに作る計画を提案させていただきます。

他の地域では、既に NPO 法人などが絵本の専門店を作っていますが、それと差別化するために寒川総合図書館の中に絵本の専門店を作るのが望ましいと考えます。

現在、図書館の運営を企業に委託していると伺ったので、仮に同じ委託企業が運営可能であれば、図書館と、絵本の専門店、双方の運営の邪魔にはならず、双方からの収益が見込めるため、企業側にとってもメリットがあると思います。

3. 改善後の効果

図書館の中に作ることによって、子供たちが図書館の絵本に触れる機会や、図書館と本屋の双方から新しい絵本に出会える機会が増えていくと考えます。

例えば、人気の絵本を借りる際に発生する順番待ちがあると思いますが、子供の興味がその本にあるうちに手に取れる事が、長期的に見て本離れを防ぐ事に繋がると思います。

図書館の絵本とは別に、絵本が手に入る環境を作ることによって、子供が気に入った本を買ってもらう事で図書館運営の収入にも繋がりますし、そのきっかけから子供が本を好きになる事によって、長期的に図書館の利用者を増やす事にも繋がると思います。

また、全国的に見ても、図書館の中に絵本の本屋さんを開いているケースは無く、この斬新な企画に興味を持ってもらう事によって、寒川町の知名度が高まり、全国的に有名になる可能性があります。

それによって、全国から寒川町を訪れる方、子育て活動の一環として移住を考える方など、長期的なメリットをもたらす事が考えられます。

ご検討宜しくお願い致します。

回答

<絵本の専門店を図書館の中に作るという企画を提案させてください。>

【所管：教育政策課長】

寒川総合図書館は、指定管理者の TRC・相鉄企業体が運営しています。

ご提案いただきました図書館での絵本を販売することについては、物品販売は図書館管理運営のために町が指定した業務ではないため、指定管理者に自主事業として検討できないか申し伝えます。